

■暮れの忙しさとお正月の楽しさを思い切り

いよいよ、子どもたちが心待ちにしている冬休みが始まりますが、冬休みはなぜあるのでしょうか。何のためにあるのでしょうか。

冬は寒くて、勉強が思うようにはかどらないから休みになっているわけではありません。もしそうであるなら、寒さが最も厳しくなる2月頃が適当ということになります。

この時期の休みだからこそ、学校では経験のできない大切なものがあるから、学校から出て家庭で生活をするのです。

▽暮れの忙しさを家族みんなで！

年の暮れは、来るべきお正月の準備のため、大人たちはとても忙しい毎日を過ごさなければなりません。そこで、子どものみんなにも、この忙しさを十分に味わってもらいたいのです。

正月というのは、生活の区切り・けじめです。大みそかと元旦と言っても、時間的には継続しているので、普段の月の月末と月初めと考えてしまえばそれまでです。しかし、何らかの形で自分たちの生活を振り返り、次に向かって頑張ろうとする気持ちをかき立てようとする人間の知恵が、こうした行事を生み出してきたのです。

たがら、家族と一緒に、年の暮れの大掃除をして、身のまわりの整理・整頓をすることで、気分を一新し、身体を使って働く忙しさを味わうことで、お正月の楽しさを知ることにもつながるです。

▽命を守り、命を強く！

年末年始にスナック菓子を袋ごと抱えて、テレビやゲーム三昧のくらしをしていると、脳卒中で倒れて安静にしている人と同じで、大量のカルシウムを含んだ尿が排泄されるそうです。カルシウム不足の状態では、心はイライラ、骨や歯はボロボロといったことにもなりかねません。

年の暮れは働くことで身体を動かし、お正月はテレビやゲームに依存することなく、たこあげやこままわしといったお正月独特の遊びもいいと思います。

▽心と心を結ぶあいさつを！

たった一言で、お互いの気持ちをよくすることができる言葉があいさつです。

年の暮れのあわただしい中だからこそ大切にしたいものです。新年のあいさつも、新しい気分・決意をはっきりと確認するうえできちんとしたいものです。

家庭の中に豊かな人間関係を作り出すためにも、大切にしていきましょう。



(校長 山本 考一)

裏面に続く

2学期の府中小の教育活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。

◇府中小学校応援団（ボランティア）の皆様：プール水泳・社会見学等の引率、家庭科の裁縫・九九の暗唱チェック等のお手伝い

◇防犯、見守りボランティアの皆様：登下校時の立ち番等

◇区長、民生委員、民生児童委員、駐在所（土、肺場）等の皆様：地域での子どもたちの見守り

◇本読み隊：子どもたちの心を育む読み聞かせ

◇保護者・地域の皆様：PTA活動、「ふるさとに学ぶ会」等への協力

*「子どもたちからたくさんの元気をもらいました」等の嬉しい声もたくさん聞くことができました。3学期も、どうぞよろしく申し上げます。

◆◆◆ 保護者・地域の皆様へ ◆◆◆

1 「とよおか歩子ポイント」のご協力、大変ありがとうございます。今年度も例年同様に、ご寄付いただいたポイントで、教育活動物品を購入させていただく予定にしています。今年分については12月末が締め切りのため、今月中に寄付いただくとありがたいです。どうぞよろしく申し上げます。

2 冬休み期間中、平日の電話対応は、教職員の勤務時間に合わせて、8:00～16:30となります。それ以外の時間帯と年末年始（12/28～1/5）は留守番電話対応となります。なお、緊急の場合は、豊岡市役所（Tel0796-23-1111）まで、「学校名・お名前・連絡先」をお伝え願います。

3 冬休み中の子どもたちの安心・安全ため、ご家庭で防犯の合言葉「いかのおすし」の確認をお願いします。

- 「いか」ない
- 「の」らない
- 「お」お声を出す
- 「す」ぐに逃げる
- 「し」らせる

4 昨今の時流を踏まえ、各担任からお子さんへ、また学校からお世話になっている方々への年賀状の送付については、大変恐縮ですが、控えさせていただきます。ご理解ください。

それでは、ご家族そろって、良いお年をお迎えください！



校長ブログ：府中っ子の学校での様子をお伝えします。（パスワード：）